

## 第 173 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	平成 30 年 3 月 15 日（木）午前 10 時 00 分～12 時 00 分 経済調査会会議室
出席委員	朝堀泰明、加藤佳孝、小路直彦、野口貴文（委員長） （五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																											
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」4月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<p>・ 前回議事概要案が承認された。</p> <p>・ 審査対象資材のうち、4月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 30%;"><small>&lt;品目&gt;</small></th> <th style="text-align: center; width: 20%;"><small>[地区]</small></th> <th style="text-align: center; width: 50%;"><small>(理由)</small></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"><b>【上伸した資材】</b></td> </tr> <tr> <td>異形棒鋼</td> <td>北海道</td> <td>原材料の鉄屑は高値圏での推移が続いている。全国的に横ばい推移のなか、冬場の不需要期を過ぎた北海道地区のみ、遅れての市況上伸となった。</td> </tr> <tr> <td>H形鋼</td> <td>北海道、東北、関東、新潟、中部、九州</td> <td>製造コストの上昇要因が多く、現在の販価では仕入れ価格の上昇に追いついていない。流通側は需要者への価格転嫁を継続しており、一部地区を除いて市況は上伸した。</td> </tr> <tr> <td>鉄屑</td> <td>全国（北海道、広島、香川を除く）</td> <td>国内電炉メーカーの稼働は引き続き好調。2月中旬以降、輸出市況が上昇に転じ、主要な需要者が購入価格を 500 円/t 引き上げた。問屋筋も追随し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砂（荒目）</td> <td>北海道、福井、高知、宮崎</td> <td>輸送・製造にかかるコストの上昇、生産施設の修繕にかかる費用の増大などを理由に、各地区で値上げが打ち出される。目先、需要のある地区を中心に、安定供給を優先した需要者側が値上げを受け入れ、市況は上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砂（細目）</td> <td>高知、宮崎</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン</td> <td>北海道、福井</td> <td>新幹線需要のある北海道地区では、需要者側が輸送・製造にかかるコストを理由とした値上げに一定の理解を示し、市況上伸。福井地区では中部縦貫道新規路線工事を中心に需要は旺盛。打ち出されていた値上げの一部が浸透し、市況は上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砕石</td> <td>北海道</td> <td>再開発物件も多く、生コン向け砕石の需要は旺盛。輸送・製造にかかるコストの上昇を背景とした値上げが浸透し、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<small>&lt;品目&gt;</small>	<small>[地区]</small>	<small>(理由)</small>	<b>【上伸した資材】</b>			異形棒鋼	北海道	原材料の鉄屑は高値圏での推移が続いている。全国的に横ばい推移のなか、冬場の不需要期を過ぎた北海道地区のみ、遅れての市況上伸となった。	H形鋼	北海道、東北、関東、新潟、中部、九州	製造コストの上昇要因が多く、現在の販価では仕入れ価格の上昇に追いついていない。流通側は需要者への価格転嫁を継続しており、一部地区を除いて市況は上伸した。	鉄屑	全国（北海道、広島、香川を除く）	国内電炉メーカーの稼働は引き続き好調。2月中旬以降、輸出市況が上昇に転じ、主要な需要者が購入価格を 500 円/t 引き上げた。問屋筋も追随し、市況上伸。	コンクリート用砂（荒目）	北海道、福井、高知、宮崎	輸送・製造にかかるコストの上昇、生産施設の修繕にかかる費用の増大などを理由に、各地区で値上げが打ち出される。目先、需要のある地区を中心に、安定供給を優先した需要者側が値上げを受け入れ、市況は上伸。	コンクリート用砂（細目）	高知、宮崎	同上	クラッシュラン	北海道、福井	新幹線需要のある北海道地区では、需要者側が輸送・製造にかかるコストを理由とした値上げに一定の理解を示し、市況上伸。福井地区では中部縦貫道新規路線工事を中心に需要は旺盛。打ち出されていた値上げの一部が浸透し、市況は上伸。	コンクリート用砕石	北海道	再開発物件も多く、生コン向け砕石の需要は旺盛。輸送・製造にかかるコストの上昇を背景とした値上げが浸透し、市況上伸。
<small>&lt;品目&gt;</small>	<small>[地区]</small>	<small>(理由)</small>																										
<b>【上伸した資材】</b>																												
異形棒鋼	北海道	原材料の鉄屑は高値圏での推移が続いている。全国的に横ばい推移のなか、冬場の不需要期を過ぎた北海道地区のみ、遅れての市況上伸となった。																										
H形鋼	北海道、東北、関東、新潟、中部、九州	製造コストの上昇要因が多く、現在の販価では仕入れ価格の上昇に追いついていない。流通側は需要者への価格転嫁を継続しており、一部地区を除いて市況は上伸した。																										
鉄屑	全国（北海道、広島、香川を除く）	国内電炉メーカーの稼働は引き続き好調。2月中旬以降、輸出市況が上昇に転じ、主要な需要者が購入価格を 500 円/t 引き上げた。問屋筋も追随し、市況上伸。																										
コンクリート用砂（荒目）	北海道、福井、高知、宮崎	輸送・製造にかかるコストの上昇、生産施設の修繕にかかる費用の増大などを理由に、各地区で値上げが打ち出される。目先、需要のある地区を中心に、安定供給を優先した需要者側が値上げを受け入れ、市況は上伸。																										
コンクリート用砂（細目）	高知、宮崎	同上																										
クラッシュラン	北海道、福井	新幹線需要のある北海道地区では、需要者側が輸送・製造にかかるコストを理由とした値上げに一定の理解を示し、市況上伸。福井地区では中部縦貫道新規路線工事を中心に需要は旺盛。打ち出されていた値上げの一部が浸透し、市況は上伸。																										
コンクリート用砕石	北海道	再開発物件も多く、生コン向け砕石の需要は旺盛。輸送・製造にかかるコストの上昇を背景とした値上げが浸透し、市況上伸。																										

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果						
<p>○北海道地区のクラッシュランについて、河川工事では新材を指定されることが多いとのことだが、他の地区においても同様に河川工事では新材の指定が一般的と言えるか。</p> <p>○各地区の合材について、生コンクリートのように工場の集約化が話題になるようなことはないか。</p> <p>○価格上昇している H 形鋼について、九州地区の上昇幅が比較的大きい理由は何か。</p> <p>3. 「積算資料」4月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p> <p>○型枠用合板について、供給量の増加が見込めない中で、今後、国内需要が急増した場合、急激な需給ひっ迫、価格高騰となる可能性はあるか。</p> <p>4. 「土木施工単価」春号土木工事費の価格変動の妥当性について</p>	<p>ストレートアスファルト 全国（沖縄を除く） 原油価格が下落に転じ円高も進行する中、原油調達価格は下落している。一方、ディーラーと道路会社との価格改定は1月分+5,000円を反映し、市況上伸。</p> <p><b>【下落した資材】</b> 軽油 全国 原油価格の軟化と円高傾向も手伝い元売卸価格は2,000～2,500円下落した。販売会社は価格維持を狙ったが、需要者側の値下げ要求は強く、市況下落。</p> <p>・北海道地区では、水道工事や河川工事などでクラッシュランの新材が指定されることが多いが、工事種別によって決まるものではなく、一般的には発注者側の指定（仕様）によるものである。他の地区における指定状況を整理した資料はないため、その傾向についてコメントすることは困難である。</p> <p>・全国の合材出荷量は、特に自治体発注が低調に推移しており、前年水準の維持が精一杯である。こうした中、工場の集約化という問題はあるものの、一方で、合材は大手道路会社が地方にも工場を持っているという点が生コンと大きく異なっており、地方の市況をリードする立場にもある。そのため、生コンのように工場の集約化が話題になることは少ない。</p> <p>・現在、九州は需要が非常に旺盛な地区となっている。そのため、鉄屑など材料コストアップを背景とした流通側による需要者への価格転嫁が通りやすい状況になっていると言える。</p> <p>・審査対象資材のうち、4月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">&lt;品目&gt;</td> <td style="text-align: center;">[地区]</td> <td style="text-align: center;">(理由)</td> </tr> </table> <p><b>【上伸した資材】</b> 型枠用合板 全国（沖縄を除く） 産地での原木不足による供給減は変わらず。仕入れ価格のじり高基調が続く中、沖縄地区を除く全国で市況は上伸した。</p> <p>・一部に鉄筋工事や型枠工事の需要が旺盛な地区もあるが、設計段階でのS造へのシフトも目立つ中、今後、型枠用合板の需要が急増するような場面は考えにくい状況と言える。</p> <p>・審査対象工種のうち、春号で掲載価格に変動が生じる土木工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">&lt;品目&gt;</td> <td style="text-align: center;">[地区]</td> <td style="text-align: center;">(理由)</td> </tr> </table> <p><b>【上伸した工種】</b> 型枠工（港湾） 全国（東北被災3県を除く） 上部工のみ5%程度の上伸。改修工事が主体となる中、施工効率の低下によるコスト増加を背景として、専門工事業者の打ち出した値上げの一部が浸透した。</p>	<品目>	[地区]	(理由)	<品目>	[地区]	(理由)
<品目>	[地区]	(理由)					
<品目>	[地区]	(理由)					

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																					
<p>○現場の週休二日制が本格化すると、専門工事業者の見積もりは上がる見込みというヒアリング情報があったが、それは工期との関係によるものか。</p> <p>○土木の現場において、労務需給にひっ迫感はなく、労務費の上昇も一服していると感じられる中、市場単価の調査結果は上伸している。このタイムラグの要因は何か。</p> <p>5. 「建築施工単価」春号土木工事費の価格変動の妥当性について</p> <p>○ダクト工事について、大型工事物件よりも中規模物件を中心に市況が上伸しているというヒアリング情報があったが、それはなぜか。</p> <p>6. その他</p> <p>(1) 次回開催予定</p>	<p>コンクリート打設工 (港湾) 全国（東北被災3県を除く） 3 上部工のみ3～16%程度の上伸。改修工事が主体となる中、施工効率の低下によるコスト増加を背景として、専門工事業者の打ち出した値上げの一部が浸透。</p> <p>・設定される工期との関係と言うよりも、現場作業員は日給制の割合が高いため、週休二日制の導入による収入減を避けたいという意向が強く働くことによるものと思われる。</p> <p>・労務需給のひっ迫度合いは弱まり、緩和してきていることは確かである。一方で、品確法を踏まえて適正な水準に増額されてきた発注額が、下請となる施工業者まで浸透していたかということ、必ずしもそうとは言えない状況が続いていた。指摘されたタイムラグについては、下請業者への発注金額を上げられる環境が整うまで、ある程度時間が必要だったということが主な要因と考えられる。</p> <p>・審査対象工種のうち、春号で掲載価格に変動が生じる建築工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="1" data-bbox="638 940 1452 1747"> <thead> <tr> <th data-bbox="638 940 861 974">&lt;品目&gt;</th> <th data-bbox="861 940 1085 974">【地区】</th> <th data-bbox="1085 940 1452 974">（理由）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="638 974 1452 1008"><b>【上伸した工種】</b></td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1008 861 1187">コンクリート工事（打設手間）</td> <td data-bbox="861 1008 1085 1187">札幌、東京</td> <td data-bbox="1085 1008 1452 1187">再開発物件以外にも大型工事が増加しており、専門工事業者の稼働率は高止まりしている。元請側の労務確保優先の交渉姿勢から、市況は上伸。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1187 861 1411">コンクリート工事（打設手間） 鉄筋工事 型枠工事</td> <td data-bbox="861 1187 1085 1411">福岡、那覇</td> <td data-bbox="1085 1187 1452 1411">大型再開発工事をはじめとして、ホテル・マンション等の工事需要は旺盛。労務のひっ迫状況が続く中、元請側においては労務確保を優先する価格交渉とならざるを得ず、市況は上伸。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1411 861 1556">ダクト工事</td> <td data-bbox="861 1411 1085 1556">全国</td> <td data-bbox="1085 1411 1452 1556">再開発工事を中心に労務需給にひっ迫感が台頭。専門工事業者側が強気な交渉姿勢で臨む中、中規模物件を中心に市況上伸。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="638 1556 1452 1590"><b>【下落した工種】</b></td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1590 861 1747">鉄筋工事 型枠工事</td> <td data-bbox="861 1590 1085 1747">仙台、名古屋</td> <td data-bbox="1085 1590 1452 1747">需要は閑散とした状況で専門工事業者の稼働率も低い。工事量確保に向けた価格競争と安値受注が目立つ中、市況は下落した。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・大型工事物件は、一回の工事での契約金額が大きいため競争が発生しやすく、その結果、単位当たり価格が低下してしまう傾向がある。一方、中規模物件は大型物件ほどの競争が起こりにくいいため、従来のような安値が払拭され、市況の上伸に寄与することが多い。</p> <p>・平成30年4月17日（火）15時～17時と決定。</p> <p style="text-align: right;">（以 上）</p>	<品目>	【地区】	（理由）	<b>【上伸した工種】</b>			コンクリート工事（打設手間）	札幌、東京	再開発物件以外にも大型工事が増加しており、専門工事業者の稼働率は高止まりしている。元請側の労務確保優先の交渉姿勢から、市況は上伸。	コンクリート工事（打設手間） 鉄筋工事 型枠工事	福岡、那覇	大型再開発工事をはじめとして、ホテル・マンション等の工事需要は旺盛。労務のひっ迫状況が続く中、元請側においては労務確保を優先する価格交渉とならざるを得ず、市況は上伸。	ダクト工事	全国	再開発工事を中心に労務需給にひっ迫感が台頭。専門工事業者側が強気な交渉姿勢で臨む中、中規模物件を中心に市況上伸。	<b>【下落した工種】</b>			鉄筋工事 型枠工事	仙台、名古屋	需要は閑散とした状況で専門工事業者の稼働率も低い。工事量確保に向けた価格競争と安値受注が目立つ中、市況は下落した。
<品目>	【地区】	（理由）																				
<b>【上伸した工種】</b>																						
コンクリート工事（打設手間）	札幌、東京	再開発物件以外にも大型工事が増加しており、専門工事業者の稼働率は高止まりしている。元請側の労務確保優先の交渉姿勢から、市況は上伸。																				
コンクリート工事（打設手間） 鉄筋工事 型枠工事	福岡、那覇	大型再開発工事をはじめとして、ホテル・マンション等の工事需要は旺盛。労務のひっ迫状況が続く中、元請側においては労務確保を優先する価格交渉とならざるを得ず、市況は上伸。																				
ダクト工事	全国	再開発工事を中心に労務需給にひっ迫感が台頭。専門工事業者側が強気な交渉姿勢で臨む中、中規模物件を中心に市況上伸。																				
<b>【下落した工種】</b>																						
鉄筋工事 型枠工事	仙台、名古屋	需要は閑散とした状況で専門工事業者の稼働率も低い。工事量確保に向けた価格競争と安値受注が目立つ中、市況は下落した。																				

## 価格審査委員会規約

### (目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

### (委員会の事務)

第 2 条 委員会は、理事長の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

### (委員会の委員及び任期)

第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、理事長が委嘱する。

- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

### (委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

### (委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

### (審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて理事長に対し審査結果の報告または助言を行う。

### (意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由、他調査機関の調査結果との比較資料等を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改訂施行する。